

熊本の“いま”を読む地域経済情報誌

くまもと経済

C 表紙の人
Cover Story

塚田 利郎 風雅社長
豆菓子製造事業を譲受し商品開発を加速

8 2026
月号
VOL.542

追い風を課題解決力でチャンスに

県内地域金融

「合志東部」「益城」「西原」「玉名」販売好調

県内工業団地

県内主要企業2026年2・3・4月期決算と役員人事② / 人手不足対策で潜在人材活用



よしなが おさむ／八代市出身、1958年2月4日生まれ68歳。福岡歯科大学卒。同大学第一口腔外科講座特別研修生を経て84年吉永歯科開業、92年(医)社団徳治会理事長。県下益城郡歯科医師会会長、(学)福岡学園評議員、福岡歯科大学同窓会会長

一般企業に引けを取らない組織目指す

歯科医院の枠を超えた連携で超高齢化社会に対応

(医)社団 徳治会 吉永 修 理事長に聞く

宇城市と八代市、合志市で歯科医院グループを展開する(医)社団徳治会(宇城市松橋町、吉永修理理事長)。感染症対策や防災機能を備えた医院の整備と訪問歯科診療に力を入れ、6月には約12億円を投じて徳治会歯科医院宇城を移転リニューアルした。「一般企業に引けを取らない組織を目指す」と話す吉永理事長にインタビューした。(企画開発部・宮崎慎也)

3院で感染対策と災害対策が確立

―徳治会の概要について。

吉永 1984(昭和59)年に吉永歯科医院を開院して92年に(医)社団徳治会を設立。現在では宇城市松橋町と八代市豊原中町、合志市野々島で3院からなるグループを形成しています。すべての医院で訪問歯科診療に力を入れています。開業当初から一流企業を本手にし、人事評価や人材育成など一般企業に引けを取らない組織づくりを目指しています。

―3院体制になった経緯は。

吉永 開業して数年経った頃、八代で開業していた大学時代の先輩からの頼みで歯科医院を購入し、95年に分院として松下歯科医院を開業しました。その後、当時の合志町で「経営者が頻繁に変わって地域の方々が困っている」という相談を受け、

「地域に根差した医療を継続させなければ」という使命感で再生を図るために97年に長野歯科医院を開業しました。当時は院長の苗字を医院名にしていたが、2024年に「徳治会歯科医院」に統一しました。

―従業員数は。

吉永 非常勤も含めて合計135人です。このうち歯科医師は27人、歯科衛生士は56人、看護師は3人となっています。

―3院の建物に共通した特徴があるそうですね。

吉永 まず、徹底した感染症

複数歯科医師による訪問診療体制で需要増に対応

―訪問歯科診療にも力を入れているそうですが。

吉永 きっかけは地域の総合病院から依頼を受けたことでし

で診療を行うという形です。

―人材育成について。

吉永 一人ひとりの成長を促すため、人事評価システムを導入・運用しています。部下への指導内容や目標を設定し、年8回面談を行い、目標の達成に応じて年2回昇給するチャンスを提供しています。新入社員には1年間メンターが付き、業務や目標管理、プライベートルな相談もできる環境を整えています。

―経営の指針はありますか。

吉永 ドラッグの「すでに起こった未来を参考に、歯科医療が虫歯治療から歯周病治療、メインテナンスとニーズが移り変わり、訪問診療が大きく伸びることも予見できていたので、前もって準備を整えることができました。周りを幸せにするには自分が幸せでなければならぬことを意味する「自らと周りへの貢献」という企業理念や人材育成は孔子の教えに大きな影響を受けています。法人名と院名も孔子の「徳治主義」から取っており、地域に根差した歯科医療の展開を通して、当院の考えが広がると願っています。

また、私が教えや考えを伝え



▲6月に新築移転した徳治会歯科医院宇城(宇城市松橋町)

る際は誰の言葉であるかを必ず伝えるようにしています。そうすれば肉体は滅びても言葉と共に生き続けるからです。師匠であり熱心に指導してくださった添島歯科医院前院長の故添島義和先生の考えや教えも、後世まで語り継がれるよう次世代に伝えていきたいと思っています。

―今後のビジョンについて。

吉永 今後は訪問診療の需要への対応として増築や訪問診療車両用駐車場の整備、土地確保などを進めます。直近決算では売上高が約12億円ですが、28年に売上高20億円、200人体制を目指しています。時代に合わせ新陳代謝を続け、100年、300年と成長し続ける組織づくりに邁進します。